

5月臨時会 請願に対する討論 田口一登議員(5月16日)

栄四丁目13番への小規模場外舟券売場（ミニボートピア） 地域の意見が対立したままの誘致はすべきでない

5月16日の5月臨時会で、ミニボートピア設置について賛成・反対両者から提出された請願20件についての採決が行われ、田口一登議員が設置に反対の請願を採択するよう求めて討論を行いました。

概要を紹介します。

住民どうしが対立を深めている

私は、ただいまの委員長報告に反対し、中区栄四丁目13番におけるミニボートピア設置に反対する請願の採択を求めて討論を行ないます。

委任状を賛成票とした結果は同意と言えない

場外舟券売場の設置にあたっては、「地元町内会の同意」が条件の一つとなっていますが、本件のミニボートピアに関しては、地元の町内会の同意は、形式的なものにすぎません。同意を得たとされる2010年12月の町内会総会は、出席が過半数に満たず、委任状投票を含めてようやく賛成票が全会員の過半数になった。しかし、これは、当時の町内会長に委任した会員の票が、すべて賛成票にカウントされたことによるものです。その後、反対署名に応じた町内会員が過半数を超えて

いることから、地元町内会の同意が得られたとは、到底、言えないのであります。

設置計画をいったん白紙に戻すことが必要

地元では、住民同士が推進派、反対派に分かれてポスターを貼り合うなど、対立が深まる不幸な事態が続いています。この地域の住民に深刻な亀裂をもたらした要因は、民間事業者がミニボートピアの設置計画を持ち込んだことにあります。住民同士が、力を合わせて安心・安全なまちづくりに取り組めるようにするためには、対立の火種となっているミニボートピア設置計画をいったん白紙に戻すことが必要ではないでしょうか。

ボートピアそのものの是非は脇に置き、反対決議を

こうした地元の状況を勘案するならば、本市会には、ボートピアそのものの是非は脇に置いて、反対の決議を上げることが求められていると思います。以上の理由から、反対請願の採択を求めて、討論を終わります。



減税・自民・民主は態度が分かれる

採決の結果は、推進請願に賛成48、反対14の賛成多数で採択されました。

紹介議員の多くが採決時に退場

反対請願の紹介議員になっていた人は、日本共産党の5人を含め、採決時で19人（公明や減税などがいったんうけた紹介議員を途中で辞退）。その中で、採決に加わらず退場（棄権）した議員は7人。減税3人中2人、民主4人全員、減税クラブ1人です。

反対の意向を示していた減税の2人も退席、会派の意向で反対できなかったといわれます。また、自民の紹介議員

3人はすべて反対。欠席は紹介議員の自民1人です。

ミニボートピア設置に関する請願への態度（5月16日本会議）

	設置に反対	設置を推進	棄権	欠席・議長
共産党	5	0	0	0
減税日本	0	18	4	0
自民党	4	11	2	1と1
公明党	0	12	0	0
民主党	0	7	4	0
減税新政会	5	0	0	0
減税クラブ	0	0	1	0
計	14	48	11	欠席1

5月臨時会本会議での請願審査の結果（2012年5月16日）

請願名（請願者）	各会派の態度							結果	備考
	共	減	自	公	民	新	ク		
小規模場外舟券売場の設置に関する請願（栄東発展会、栄レジャービル協会など、10件）	●	○×	○●×	○	○×	●	×	採択	上の表 参照
名古屋市中区栄四丁目13番の場外舟券売場の設置に反対する請願（県医師会など10件）	○	●×	○●×	●	●×	○	×	不採択	上の表 参照
守山市民病院の存続と充実を求める請願（地域医療を考え守山市民病院を守る会）の1項と5項	○	▲	▲	▲	▲	▲	▲	打切り	議会意思決定済み
名古屋市立図書館への指定管理者制度導入に反対する請願（名古屋市の図書館を考える市民の会）	○	▲	▲	▲	▲	▲	▲	打切り	議会意思決定済み

○：採択 ●：不採択 ▲：打切り ×：棄権 / 共：日本共産党 減：減税日本 自：自民党 公：公明党 民：民主党 新：減税新政会 ク：減税クラブ